

ちゃんの 0歳からの予防接種スケジュール

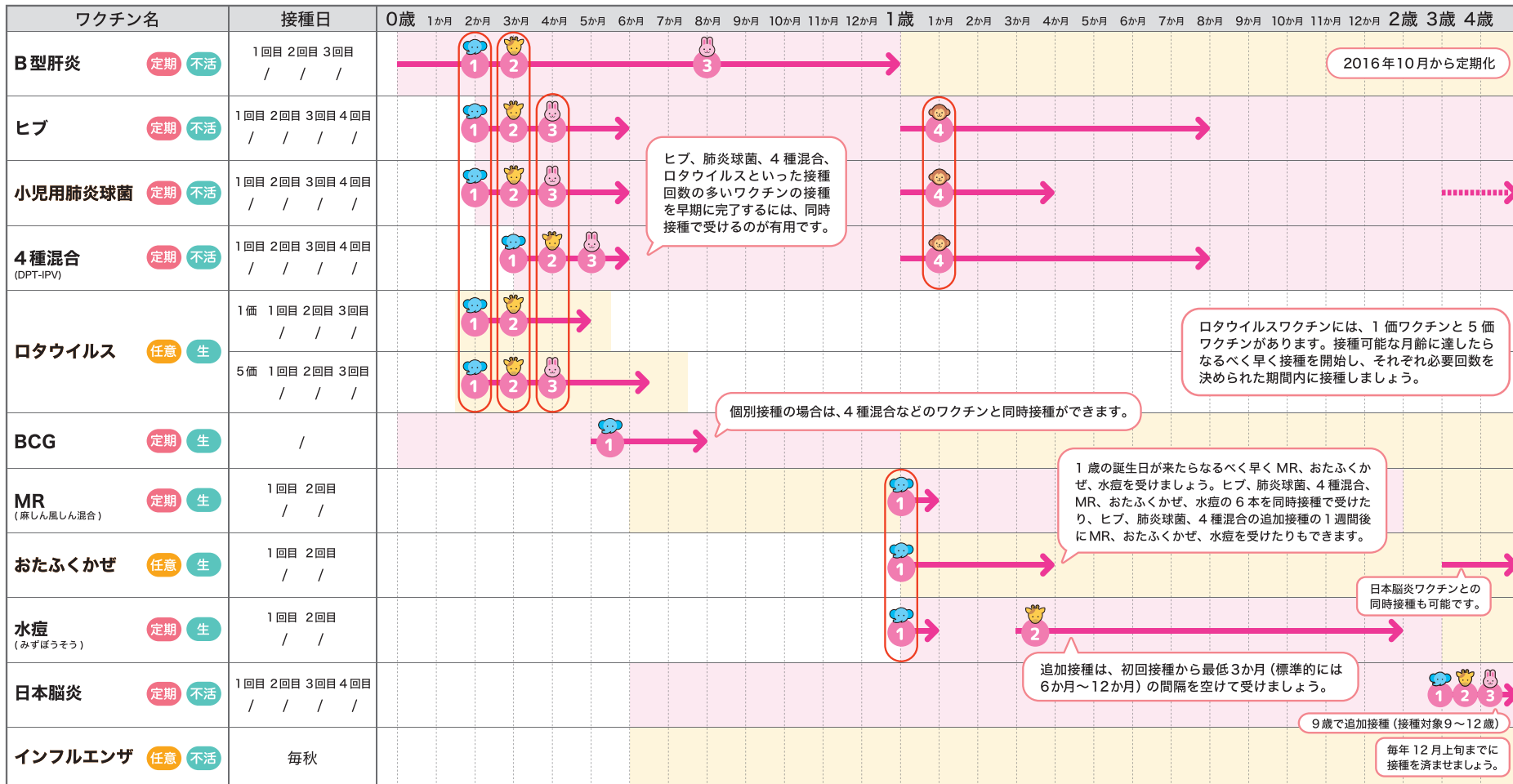


予防接種を受ける意義

病気に対する抵抗力（免疫）が非常に弱い子どもは、感染症から身を守らなければ、命が危険にさらされます。そのため最も有効な手段が、予防接種で免疫をつけることです。子どもたちの命を守るため、予防接種はきちんと受けましょう。

同時接種って？

1回に2種類以上のワクチンを同時に接種することを同時接種と言います。同時に接種してもワクチンの有効性に変わりがなく、副反応の頻度も変わらない場合、同時接種が可能です。条件に当てはまれば、一度に何本でも同時接種できます。



ヒブ、肺炎球菌、4種混合、ロタウイルスといった接種回数の多いワクチンの接種を早期に完了するには、同時接種で受けるのが有用です。

ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。接種可能な月齢に達したらなるべく早く接種を開始し、それぞれ必要回数を決められた期間内に接種しましょう。

個別接種の場合は、4種混合などのワクチンと同時接種ができます。

1歳の誕生日が来たらなるべく早くMR、おたふくかぜ、水痘を受けましょう。ヒブ、肺炎球菌、4種混合、MR、おたふくかぜ、水痘の6本を同時接種で受けたり、ヒブ、肺炎球菌、4種混合の追加接種の1週間後にMR、おたふくかぜ、水痘を受けたりもできます。

日本脳炎ワクチンとの同時接種も可能です。

追加接種は、初回接種から最低3か月（標準的には6か月～12か月）の間隔を空けて受けましょう。

9歳で追加接種（接種対象9～12歳）

毎年12月上旬までに接種を済ませましょう。

定期 定められた期間内で受ける場合は原則として公費負担。
任意 多くは自己負担。地域によっては公費助成があります。

定期接種の対象年齢
 任意接種の対象年齢
 生 生ワクチン
 不活 不活化ワクチン
 おすすめ接種時期と接種回数
 同時接種

予防接種当日の準備・持ち物

当日は記入済みの予約票と母子健康手帳（母子手帳）を忘れずに持参しましょう。また、朝、自宅で体温を測り、発熱がないかどうか確認を。接種会場には、子どもの普段の様子をよく分かっている保護者が付き添ってください。

接種後はすぐに帰らない

ワクチン接種後はすぐに帰らず、接種会場や医療機関で30分程度、様子を見て、異常が見られないことを確認してから帰宅しましょう。重篤（じゅうとく）な副反応は接種直後に現れることが多いため、医師とすぐに連絡がとれる場所で待機してください。

